

令和8年度 第1回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

No.	推奨事業メニュー	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期
1	③物価高騰に伴う子育て世帯支援	子ども医療費助成事業(物価高騰対応・高校生年代分)	①物価高騰の影響を受けている子育て世代に対し、子どもの健全な育成及び安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを推進するため、高校生年代(18歳到達後最初の3月31日までの子ども)の医療費を助成する。 ②医療費助成に係る経費 ③手数料 605千円 子ども医療助成費 24,417千円 ④高校生年代(18歳到達後最初の3月31日までの子ども)を持つ保護者	R8.4	R9.3
2	①食料品の物価高騰に対する特別加算	子ども食堂物価高騰対応支援事業	①物価高騰による子ども食堂運営の負担軽減を目的とし、地域で必要とされる食事支援活動における食品購入費等を支援する。 ②子ども食堂の運営に係る経費 ③事業所①200円×40名×14回=112,000円 事業所②200円×40名×5回=40,000円 事業所③200円×70名×7回=98,000円 事業所④200円×100名×2回=40,000円 事業所⑤200円×30名×16回=96,000円 事業所⑥200円×50名×12回=120,000円 事業所⑦200円×60名×2回=24,000円 事業所⑧200円×40名×12回=96,000円 事業所⑨200円×40名×3回=24,000円 事業所⑩20,000円×11月=220,000円 計870,000円 ※一人あたり200円または一月上限50,000円 ④市内の子ども食堂実施団体	R8.4	R9.2
3	①食料品の物価高騰に対する特別加算	マタニティ応援プロジェクト事業	①物価高騰の影響を受けている妊産婦に対し、特別な精米で栄養価の高い金芽米を無償提供することで、妊産婦の健康を食事の面からサポートし、妊産婦の健康の保持・増進、乳児のすこやかな成長を支援する。 ②金芽米購入・送付経費 ③消耗品費 28,979千円(8,040円×妊婦累計1,440人、8,040円×産婦累計2,160人、事務用品35,000円) 印刷製本費 110千円(チラシ55,000円、ステッカー55,000円) 手数料 3,366千円(935円×3,600回) ④出産した子供が1歳になるまでの妊産婦	R8.4	R9.3
4	⑧農林水産業における物価高騰対策支援	カメムシ防除対策事業(物価高騰対応分)	①カメムシの被害を未然に防止し、物価高騰の影響を受けている生産者の経営的負担の軽減と収量・品質低下の抑制を支援する目的として、2回以上のカメムシ広域防除に係る費用の一部を補助する。 ②カメムシ防除に係る経費、交付事務委託経費 ③水稻:140,000a×1,000円/10a=14,000千円 果樹:2,000a×5,000円/10a=1,000千円 補助金計15,000千円 事務費200千円 事業費計15,200千円 ④市内農家	R8.5	R8.10
5	①食料品の物価高騰に対する特別加算	学校給食応援事業(物価高騰臨時対応分)	①給食費を抑制することにより、物価高騰の影響を受けている子育て世帯の家計を支援する。 ②賄材料費 ③小学校:11,200円(市一般財源持ち出し分)×1,551人=17,371,200円 中学校:6,035円(市一般財源持ち出し分)×844人=5,093,540円 合計22,464,740円=22,465千円 ※教職員の給食費は含まない。 ※給食費負担軽減交付金による支援を踏まえ、国/県からの基準額に基づく支援額を超える部分に対して重点支援地方交付金を充当する。 ④安来市、市内小中学生の保護者	R8.4	R9.3